

# 外国人と共につくる、暮らしやすい地域 マルシェ万富がつなぐ多国籍交流

モモタク運営協議会

千種学区内には、縫製工場や近隣の市町村にある工場などで働いている外国人が多く暮らしています。

この外国人と地元住民との間で、生活習慣の違いからゴミ出しや自転車の通行などで多くのトラブルが発生し、地域が抱える問題にまでなっていました。

## マルシェ万富に多くの外国人が

そんな時、毎月第4日曜日に万富公民館で開催しているマルシェ万富に多く外国人が、地元で採れた新鮮な野菜や果物を求めて買いに来るようになりました。

やがて店を開店するための準備を手伝ってくれたり、荷物を運んでくれたりして、お互いが身近な存在として意識するようになりました。

地元住民の皆さんもベトナム語を勉強して、少しでもコミュニケーションがとれるよう配慮するようになってきました。



この光景を見た万富公民館では、令和5年3月から「まんとみ国際交流すすめ隊」の会員を募集し、地元住民と外国人あわせて約30名が毎月第1日曜日に交流を行っています。

## 国際交流で焼きそば作り



万富公民館に集まった地元住民と外国の人との交流会では、言葉の壁を乗り越えて身振り手振りでコミュニケーションを図っています。

6月に行った交流会では一緒に焼きそばを調理しながらお互いの国の文化について話がはずんでいました。

この交流会で、千種学区防災会が実施する予定の災害時避難行動要支援者避難訓練の参加も取り上げられ、避難訓練に参加することになりました。

6月30日に行われた災害時避難行動要支援者避難訓練では、地元の要支援者と共に万富公民館へ避難を体験しました。

受付での避難所利用者登録票の記入には通訳の人に教えてもらいながら記入に挑戦していました。

地域で暮らす外国人の皆さんは少人数で言葉や生活習慣の違いから、その地域で暮らしにくくなっています。

地元住民から積極的に働きかけ、お互いを理解し共生と交流を進めて行くことにより、住みやすく働きやすい地域になるよう活動を推進していきます。

## 要支援者避難訓練に参加

